

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
平成30年5月末現在
男 16,577人
女 16,422人
総人口 32,999人
世帯数 13,213世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の情報発信中!!



●町公式ホームページ
<http://www.town.ibaraki.lg.jp/>



●町公式ツイッター
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>



●町公式Instagram
https://www.instagram.com/townibaraki_official/

里山に育む生きものたち

No.71 ヤマトシジミ

(チョウ目シジミチョウ科)
学名 *Zizeeria maha* (Kollar,1844)

写真・文 小菅 次男



メス

オス

▼よく似たシジミチョウ
オスの表面は青色で黒い縁取りがあり、メスは一般には全体が黒色です。

▼人里に住む普通の蝶
都会の中でも庭の片隅や道端にひっそりと咲いている食草のカタバミがあれば、大抵この可愛らしいヤマトシジミが住みついています。

▼岩手県、秋田県以南に分布するシジミチョウですが、近年温暖化の影響で北上し、青森県まで広がりました。北海道を除き、日本では広く見られる最も普通の種類です。

▼外来種の食草では？
ヤマトの名をもらっていますが、この蝶は日本だけでなく中近東から東南アジアに広く分布するたくましい蝶です。ところが、この幼虫は普通の緑色のカタバミしか食べません。帰化植物のムラサキカタバミ

▼原発事故の影響
ヤマトシジミがどこにも普通に見られることから、福島第一原発事故の影響調査の対象種として扱われました。琉球大学のこの調査の結果、生理的、遺伝的障害がこの蝶に見られたとの発表があり話題となりました。

▼アリとの共生
幼虫の尾部付近に蜜腺を持っていて、甘い蜜を分泌してアリに与え、ハチなどの外敵から守ってもらいます。アリを味方につけているのです。このように幼虫とアリとの共生が認められますが、その程度は余り高くはありません。

ヤマトシジミと例えば沼特産の汽水域にすむ二枚貝ですが、今回は同じ名前を持つ蝶の話をする。

実は、この蝶に似た2種類の蝶が草地や荒地地によく見られます。ルリシジミとツバメシジミです。飛んでいる時は見分け難いのですが、止まっている時によく見ると区別が付き

にも産卵しますが、幼虫は成虫までは育ちません。

ちびっ子アート さくらこども園



「おかあさんと動物をみたよ♡」
いしだ のの(5歳)



「シャンシャン かわいかったよ♡」
やざわ るな(5歳)